

MA2009—12

船 舶 事 故 調 査 報 告 書

平成21年12月18日

運 輸 安 全 委 員 会

**(東京事案)**

- 1 遊漁船第七浩洋丸沈没

**(地方事務所事案)**

**函館事務所**

- 2 漁船第六十七朝洋丸乗組員死亡
- 3 漁船幸栄丸乗組員死亡

**仙台事務所**

- 4 遊漁船第三十二東北丸遊漁船第五南天丸衝突
- 5 漁船海栄丸乗組員負傷
- 6 漁船第五十八勝丸操船者死亡
- 7 旅客船マリンイーグル乗揚

**横浜事務所**

- 8 押船第十八橋本丸(被押)台船橋本丸モーターボートWHITE ANGEL  
モーターボート翼光モーターボートひろみⅢ世衝突
- 9 水上オートバイSTX12-F衝突(橋脚防衝杭)
- 10 ミニボート(船名なし)転覆
- 11 漁船憲進丸漁船第十春吉丸衝突
- 12 LNG船アルズバーラ水先船いらご6乗組員負傷

**神戸事務所**

- 13 漁船第五徳宝丸漁船井上丸衝突
- 14 漁船第一長久丸乗組員死亡
- 15 漁船豊洋丸火災
- 16 貨物船SUPER STAR貨物船八幡丸衝突
- 17 漁船一恵丸乗組員死亡
- 18 ゴムボート(船名なし)乗船者死亡

- |                   |
|-------------------|
| 19 カヌー(船名なし)操船者死亡 |
|-------------------|

**広島事務所**

- 20 漁船文栄丸乗揚
- 21 モーターボート佳宏丸衝突(岩場)
- 22 モーターボートサザン企画乗組員死亡
- 23 漁船良代丸漁船大喜丸衝突
- 24 漁船錦丸操船者死亡
- 25 貨物船寶積丸乗揚

**門司事務所**

- 26 漁船第二勇新丸搭載救助艇(船名なし)乗組員負傷

### **長崎事務所**

- 27 漁船第一喜久丸乗組員死亡
- 28 漁船第七奨福丸施設損傷（定置網）
- 29 遊漁船さつき丸モーターボートHIROKAZU衝突

### **那覇事務所**

- 30 旅客船ドリーム3乗組員負傷

本報告書の調査は、本件船舶事故に関し、運輸安全委員会設置法に基づき、運輸安全委員会により、船舶事故及び事故に伴い発生した被害の原因を究明し、事故の防止及び被害の軽減に寄与することを目的として行われたものであり、事故の責任を問うために行われたものではない。

運輸安全委員会  
委員長 後藤 昇 弘

## 《参 考》

本報告書本文中に用いる分析の結果を表す用語の取扱いについて

本報告書の本文中「3 分 析」に用いる分析の結果を表す用語は、次のとおりとする。

- ① 断定できる場合  
・・・「認められる」
- ② 断定できないが、ほぼ間違いない場合  
・・・「推定される」
- ③ 可能性が高い場合  
・・・「考えられる」
- ④ 可能性がある場合  
・・・「可能性が考えられる」  
・・・「可能性があると考えられる」

## 19 カヌー（船名なし）操船者死亡

## 船舶事故調査報告書

平成21年12月3日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 山本 哲 也  
 委員 根本 美 奈

事故種類	操船者死亡
発生日時	不明（平成21年9月20日 13時30分ごろ、仰向けの状態で漂流中の操船者と転覆した本船が発見された。）
発生場所	不明（上記の発見場所は、兵庫県相生市関西電力株式会社相生発電所東方沖250m付近であった。）
事故調査の経過	平成21年10月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての操船者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	カヌー 船名なし、重量29kg なし、個人所有 3.73m×0.76m×0.3m、ポリエチレン製 機関なし、製造年月日不明
乗組員等に関する情報	操船者 男性 35歳
死傷者等	死亡 1人（操船者）
損傷	なし
事故の経過	操船者は、平成21年9月20日（日）06時前、ワンボックスカーに本船を積んで、相生市から約30km離れた自宅を出発した。 13時30分ごろ、相生市関西電力株式会社相生発電所（以下「A発電所」という。）東方沖250m付近を航行中のプレジャーボートが、転覆した本船と、救命胴衣を着用せずに仰向けの状態で漂流している操船者を発見した。 プレジャーボートの船長が相生警察署に通報し、同署から通報を受けた海上保安庁の巡視艇が操船者を収容した。 検視の結果、操船者は溺死と検案された。 操船者のワンボックスカーは、A発電所の対岸の野瀬公園マリナーパーク内で発見された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2、視程 22.1km
その他の事項	家を出るとき、操船者に体調不良の様子は見られなかった。 操船者は、カヌー乗船歴が数年あり、カヌーの溪流釣りも何年も前から行っていた。 操船者が本船を購入後、使用するのは今回が初めてであった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は溺死であった。 操船者は、救命胴衣を着用せずに落水したため、溺死した可能性があると考えられるが、落水した状況については、明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が相生市A発電所沖を航行中、操船者が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。	